

カリガリ博士 (1919)

DAS CABINET DES DR. CALIGARI
THE CABINET OF DR. CALIGARI

メディア 映画

ジャンル ホラー アート

製作国 ドイツ

色彩 B&W

時間 48分

初公開日 1921/05

公開情報 劇場公開

【解説】

ドイツ表現主義を世界に知らしめた画期的な作品。チェコ出身の詩人H・ヤノヴィッツと、オーストラリア人で田舎芝居に出たり即興漫画を書いたりしていたC・マイヤーが、第一次大戦から帰還後ベルリンで知り合った事から、この全体主義への警鐘を孕みつつその表現の余りの不気味さに逆の作用もある幻想譚は生まれた。オランダ国境に近い北ドイツ、カリガリ博士（クラウス）は眠り男ツェザーレの予言を看板にした見世物をカーニバルに出している。友人アランを連れ、その小屋を覗いたフランシス。友人は調子にのって自分がいつまで生きられるかを眠り男に尋ねるが、答えは“明日の朝まで！”。本当に彼は翌日には殺されており、フランシスは疑惑究明に乗り出すが……。話の強烈さに検閲の目を恐れた製作者が、強引に主人公を狂人に仕立てるプロローグとエピローグをねじ込んだが、返って夢魘の様相は深まった気がする。後にハリウッドでも活躍するC・ファイトの眠り男が妖気に満ちて怪異。

【クレジット】

| | | |
|----|--|---|
| 監督 | ロベルト・ウイーネ | Robert Wiene |
| 製作 | エリッヒ・ポマー | Erich Pommer |
| 脚本 | ハンス・ヤノヴィッツ カール・マイヤー | Carl Mayer |
| 出演 | コンラート・ファイト ヴェルナー・クラウス リル・ダゴファー フリードリッヒ・フェーヘル ハンス・ハインリッヒ・フォン・トワルドフスキー | Conrad Veidt Werner Krauss Lil Dagover Friedrich Feher Hans Heinrich von Twardowski |